

平成25年12月5日

岩出市長 中芝 正幸 様

岩出市公共下水道事業運営審議会  
会長 澤井 徹

岩出市公共下水道事業の運営方針について（最終答申）

平成25年7月4日付け岩市上下水第66号により諮問のありました標記事項について、別紙のとおり答申します。

1. 公共下水道事業の経営基盤の強化に向けた今後の事業運営方針について

I. 下水道使用料及び受益者負担金について

① 下水道使用料

岩出市の下水道使用料は、1カ月あたりの平均的な使用料とされる20m<sup>3</sup>の使用料金が2,750円であり、全国平均(2,690円)と比較するとほぼ同程度となっている。

平成13年度の事業着手以降、順次、下水道の普及拡大を図ってきた結果、平成24年度末の下水道普及率は15.2%となっているが、更なる下水道整備の普及拡大が必要である。

現在の下水道経営状況は、普及率の向上に伴って使用料収入は増加しているが、起債償還費の増大による支出増加が大きいことから一般会計からの繰入金に依存した経営にならざるを得ない状況である。

収入と支出のバランスを図るには、支出の抑制と収入の増加が必要であるが、整備途上の岩出市で建設投資額を大幅に削減することは不可能であることから、必然的に収入を増加させて収支バランスを図らざるを得ない。

しかしながら、供用開始してから日が浅い(概ね5年)こと、下水道料金の値上げが普及拡大の阻害要因になることなどを鑑み、当面の間、使用料金は現状を維持することが望ましい。

② 受益者負担金

受益者負担金は、下水道整備の貴重な財源として概ね整備事業費の5%を目安として市民の方々から徴収しており、今後も負担の公平性の観点から現行制度を維持することが望ましい。

③ 下水道使用料及び受益者負担金の料金改定について

下水道使用料及び受益者負担金は、当面の間、現行制度を維持することが望ましいが、下水道管理費の増減や一般会計の繰入状況等の動向に注視しつつ、必要に応じて料金改定の検討を実施されたい。

特に、下水道使用料については、全国的な動向や近隣他市の状況を踏まえ、下水道使用料と一般会計からの繰り入れバランスを著しく欠くことの無いよう留意されたい。

なお、下水道使用料は消費税の課税対象であることから、消費税法の改正に伴う新税率を適切に料金に反映すること。

II. 下水道の普及拡大と接続率向上に関する取り組みについて

① 下水道の普及拡大の意義

下水道事業の経営基盤の強化には、安定した収入の確保が必要不可欠であり、収入の根本である下水道使用料を得るには整備区域の拡大と下水道への接続率向上を両輪として取り組んでいかねばならない。

特に、接続率の向上は、整備事業費の投資効果を高めるためにも不断の努力を惜しまず営業の最優先事項として取り組む必要がある。

## ② 下水道経営の基盤強化と接続率向上に向けた取り組み

下水道経営の基盤強化には、公共下水道の整備に要した投資効果を最大限に発揮することが重要であり、そのためには接続率の向上を図る取り組みを推進する必要がある。岩出市では、接続率向上を目的とした助成制度が創設されており、これまでの助成実績を見ても一定の効果を発揮してきたと考えられる。現行の助成制度については、引き続き制度の維持に努め接続率の向上を図りたい。

さらに、普及促進に係るPR活動については、岩出市がこれまで実施してきたPR活動を踏まえ、住民意識の向上と下水道経営の基盤強化に資する新たな普及促進策を以下のとおり提言する。

### (ア) 戸別訪問による双方向のPR活動の実施

未水洗家屋に戸別訪問し、アンケート調査や助成制度の紹介をはじめ「お客様本位」のきめ細かな対応を行うことで下水道接続率の向上を図ること。

さらに、公共下水道を利用することによる効果、生活排水が周辺の水環境に与える影響などを丁寧に説明し、下水道を利用する動機付けについて取り組みを進められたい。

なお、戸別訪問員については、行政OBやシルバー人材センター、自治会（下水道サポーター制度）などの市役所外部の人材活用を検討されたい。

### (イ) イベントなどを活用した下水道相談窓口の設置

積極的な営業活動を実施するため「ふれあいまつり」や「市民運動会」、「文化祭」などで臨時ブースを設置し、下水道のPRを実施されたい。

### (ウ) 下水道講座等による下水道のPR

一般市民や小学生を対象に下水道の学習機会確保の一環として「下水道講座」等を開催されたい。また、教育委員会等とも協力して日本下水道協会などの補助制度を積極的に活用し、岩出市の将来を担う子供達に環境学習の機会を確保されたい。

### (エ) アンケート調査の実施

アンケート調査により、未接続家屋の課題や問題点を把握し今後の接続率向上策の検討を実施されたい。

なお、アンケート調査の実施にあたっては、回収率の向上を図るため戸別訪問員による聞き取り調査方式を採用されたい。

### (オ) 下水道未普及地域へのPR活動

下水道の利用を開始するには、宅内排水設備などの工事費に加えて受益者負担金などの個人負担が必要となり、費用負担が原因で未接続になっているケースが少なからずあると考えられる。

岩出市では、全国的に見ても比較的手厚い助成制度が設けられており、これらの制度活用のPRはもとより、特に下水道未整備地区に対して個人負担に関する情報提供を積極的に行い、計画的な資金の確保が促されるよう取り組みを進められたい。